

## 1 研究課題名

ダニ媒介感染症等のサーベイランス機能強化に向けた検査法開発

## 2 研究期間

令和7年4月1日 - 令和10年3月31日 (3年間)

## 3 研究機関

福岡県保健環境研究所ウイルス課と神奈川県衛生研究所ウイルス・リケッチアグループと九州大学農学部衛生昆虫学研究室と行う多機関共同研究です。

## 4 実施責任者

福岡県保健環境研究所 ウイルス課 古谷 貴志

## 5 研究の目的

野生動物の生息域の拡大による人獣共通感染症のリスク拡大、人や物の移動による感染症のグローバル化など感染症を取り巻く状況は大きく変化しており、多様な感染症に対応できる検査能力の向上が急務となっています。昨今、西日本を中心に SFTSV や新規のダニ媒介感染症が発生している現状であり、感染状況まで実施可能な体制を構築する必要があるが、現在はその技術基盤が弱い状況です。そこで本研究では、これらの技術基盤を強化するため、人獣共通感染症の一つであるダニ媒介感染症について検査法開発と流行状況の調査を目指していきます。

## 6 研究の方法

この研究では、令和7年4月1日から令和10年3月31日までに、福岡県保健環境研究所ウイルス課において、感染症の検査を受けられた方すべてを対象とさせていただく予定です。

ダニ媒介感染症に関連するマダニ媒介ウイルスを主な対象として研究を進め、搬入に付随する情報を用いた調査や、臨床検体由来のマダニ媒介性ウイルス探索、マダニ検体から得られたウイルスの網羅的探索を行います。検出されたウイルスについてウイルス分離を実施し、ウイルス株を収集する予定です。また、これらについて、全ゲノム解析等を実施して遺伝子情報を取得します。

次に、遺伝子検出法、抗体検査法、迅速・簡易検査法の開発のための技術を導入し、独自でこれらの検査法を開発できる体制を構築する予定です。研究対象とするウイルスについて、これらの検査法を開発します。最後に、開発した検査法を使用して臨床検体、野生動物検体、マダニ検体についてマダニ媒介ウイルスの検出または抗体調査を実施し、県内のマダニ媒介ウイルスの分布状況を調査することを検討しています。

## 7 個人情報の取り扱い

当所は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針第18（個人情報の保護等）の規定に則り、感染症法に基づく検査で取得した検体及び情報を取り扱っていますが、この研究では、個人を特定できる情報（氏名、生年月日、電話番号、自宅住所、メールアドレス、保険証番号、カルテ番号、患者ID、医療機関名）を一切使用しません。そのため、対象者個人のプライバシーは保護されます。この研究で得られたデータは研究終了後5年間もしくは当該研究の結果の

最終の公表について報告された日から3年間保存された後、研究実施責任者の管理のもとデータを消去いたします。なお、この研究に用いる検体は、個人を識別できないよう加工されているため、特定の方からの結果の開示や削除を求められてもご希望に沿うことができませんのでご了承ください。

## 8 お問い合わせ先

福岡県保健環境研究所 ウイルス課  
〒818-0135 福岡県太宰府市大字向佐野 39  
電話：092-921-9945

## 9 その他

本研究参加による直接的な利益はありません。この研究に関して、開示すべき利益相反は一切ありません。